

夢の卵🐣育成事業

この事業は、ノーベル物理学賞を受賞された故 小柴昌俊さんの「子どもたちには『夢の卵』を持ち続けてほしい」とのメッセージにちなんで企画しました。子どもたちに「いくつもの『夢の卵』をもってもらうこと」、「『夢の卵』を温めてもらうこと」、そして「『夢の卵』を孵すこと」を支援し、自分の将来を考えてもらうきっかけづくりをねらいとして、平成16（2004）年度から実施しており、今年で20回目となりました。

4月中旬から5月にかけて、県内の小学校5、6年生と中学校1、2年生を対象に、「将来の夢（＝夢の卵）」を書いた作文を募集し、その中から選んだ4名の児童生徒が、各分野の専門家に短期入門をしました。また、より多くの子どもたちの夢を応援するため、それ以外の秀でた作品を佳作として表彰しています。

小学生の部（応募数449作品）

人の役に立てるロボット プログラマーになりたい

原田 遥香 さん（南砺市立城端小学校5年）

ロボットによる治療やケアの有用性に気付き そのようなロボットを製作できるプログラマーになりたいと富山県立大学の智能ロボット工学科に入門。これからの社会におけるロボットの役割や基礎となるプログラミングについて学び、実際にロボットを製作しました。

体験記 より

とても貴重な体験でした。今回の短期入門で、「英語」と「数学」の力をつけること、「C言語」の勉強の必要性を強く感じました。そして、『人の役に立つロボットプログラマー』になるために、今から色々な学習に取り組んでいかなくてはならないと思いました。



プログラミングについての講義



スマホでコントロールできるロボットの製作



病院薬剤師の役割・業務についての説明



模擬調剤体験

患者さんに安心や生きる希望を 届けられる病院薬剤師になりたい

嶋原 颯真 さん（高岡市立高岡西部小学校6年）

過去に家族が病院薬剤師に支えられた経験から、自分も病院薬剤師になって患者に生きる希望を与えられるようになりたいと厚生連高岡病院に入門。病院薬剤師の役割・業務について学び、模擬調剤を体験したり、実際の患者指導を見学したりしました。

体験記 より

病院薬剤師になりたいという夢は持っていましたが、今回の経験を通して大きなやりがいを感じ、今まで以上に夢が確かなものとなりました。将来は富山県で働いて、少しでも薬剤師不足を解消できるように、これから努力していきたいです。



- 多かった夢ベスト5**
- ① サッカー選手
 - ② 医師
 - ③ 保育士
 - ④ イラストレーター
 - ⑤ 美容師



令和6年度 夢の卵表彰式

<令和6年度の入賞者数>

小学生の部 優秀賞（短期入門）2名 佳作 15名
 中学生の部 優秀賞（短期入門）2名 佳作 14名

中学生の部（応募数557作品）

**世界中の困っている人を助けられる
国際機関職員になりたい**

清原 歌帆 さん（小矢部市石動中学校1年）

様々な報道から世界には多くの紛争と難民が存在することを知り、その人たちを支えるためには自分は何ができるかを考え、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）駐日事務所、国連UNHCR協会に入門。世界情勢の中での難民を取り巻く最前線について知り、今後自分に何ができるか、何をすべきかを考える機会となりました。

体験記より

入門を通して、難民支援の業務内容やそれに携わる職員の方々の思いを知ることができ、将来の方向性を考える上でとても参考になりました。これからも難民の人々に関する勉強をし続けるとともに、支援の理解と参加を呼びかけることについても実践していきたいと思います。



UNHCRの職員の方との対談



キャリア大学での意見交換



宇宙飛行士訓練についての講義



JAXA調布航空宇宙センターの見学

**日本の宇宙産業を輝かせる
開拓者になりたい**

山本 悠仁 さん（富山大学教育学部附属中学校1年）

宇宙開発に強い興味と憧れがあり、日本の宇宙産業をリードする開拓者になりたいと、有人宇宙システム株式会社（JAMSS）に入門。現在の宇宙開発・研究の現状や宇宙飛行士の訓練内容、国際宇宙ステーションの運用について学びました。入門とは別にJAXA調布航空宇宙センターを見学させていただきました。

体験記より

日本の宇宙産業の先端で活躍されているの方々にお会いし、その熱意や現場のリアルを直接感じることで、ホームページで得る情報とは比較にならないほどの大きな刺激を受けました。今現在の日本が誇る技術やその課題について深く知ることができ、心ゆさぶられる思いで胸がいっぱいになりました。